

出会い、ともに育つ Outdoor Club



写真奥左から

熊本YMCA 野外教育事業部 藤本 博人 さん

Outdoor Club ユースボランティアリーダー 田中 美桜里 さん(ひまわりリーダー)
手前左から

Outdoor Club 保護者 出来田 雅人 さん 友美さん

キャンプで芽生える子どもたちの自立心

藤本 熊本YMCAのOutdoor Clubは年代や目標に応じたADVENTURE、FUN、ACTIVE、FUSIONの4クラスに分かれ、自然の中での体験活動を中心に、年間を通して活動をしています。本日はOutdoor Clubに関わる3名のお話を伺います。出来田雅人さん、友美さんご夫妻はOutdoor Clubのメンバーの保護者であり、今年度スタートしたサポーター制度に「できた矯正歯科」として寄付をいただいています。ひまわりリーダーは、子どもたちと共に活動するユースボランティアリーダーとして参加しています。



キャンプに参加する拓真くん

雅人 我が家には子どもが4人います。一番上の長男の拓真が小学2年生、下の子は今年2歳になります。YMCA水前寺幼稚園に通園している縁で長男が年中の頃からOutdoor Clubに参加しています。

ひまわりリーダー 私は今、大学4年生です。先輩の紹介でOutdoor Clubのリーダーになって1年とちょっとです。普段は子どもたちに関わる機会がなかったので、初めて参加した時に「こんな素敵な活動があるんだ」と思いました。

藤本 先日、2025年度の活動がスタートしましたね。

雅人 今年度から拓真がACTIVEクラスに参加するようになりました。これまではリーダーと一緒に活動が多かったのですが、自立して自分でやるというクラスになりました。以前より上級のクラスにいきたいと言って、それが叶って楽しかったようです。この前は自分たちで作ったカレーがとても美味しくできたと言っていました。拓真は幼稚園の時から、キャンプから帰ってくるとすぐ自立心が出ていました。「着替えを自分でやりたい」、「お風呂で自分で洗いたい」というのはキャンプがきっかけだと思います。

友美 妹の花蓮ちゃんもOutdoor Clubに通っています。幼稚園の園外保育で山に行った時、花蓮ちゃんだけ燃える落ち葉を集めて、先生に「これは燃える葉だよ」と教えたそうで、びっくりしたと先生から聞きました。もうすぐ6歳になりますが私よりも生きていく力があるんじゃないかと思うような場面がありますね。

想いがつなぐ成長の場

藤本 ひまわりリーダーは、ボランティアでOutdoor Clubに関わっていますね。喜びを感じるのはどんな時ですか？

ひまわりリーダー 「キャンプと一緒にいく」ということだけがリーダーの役割ではなく、子どもたちが成長できる時間にするためにどんなキャンプにするのか、準備の段階から考えています。うまくできたら、自分たちの想いが伝わったと思って嬉しいです、うまくいかなかった時は、翌月の活動はこうしてみようと考えたり、年間を通して子どもたちとのつながりがあることにやりがいを感じています。

藤本 活動を通して自分自身の変化を感じることはありますか？

ひまわりリーダー 私はこれまで、学生の自分たちだけで一つのことに向かって計画を立てて実行するという経験がなかったし、人前にでるのも得意ではありませんでした。でもOutdoor Clubで経験を重ねる中で子どもたちだけでなく自分も成長していると感じています。

友美 子どもたちは毎回、活動も楽しみだけれど、リーダーに会えるのも楽しみなようです。ボランティアとして、志が高くてキラキラしていて、私の子どもたちもリーダーたちのような大人になってほしいと、心から思える存在です。

(2面につづく)



ひまわりリーダーと花蓮ちゃん

Pickup

YMCA黒川保育園
遠足YMCA水前寺幼稚園
遠足ワイズメンズクラブ
ツーリングが
阿蘇キャンプを訪問

その年代にしかできない貴重な経験を

藤本 今回、Outdoor Clubは企業等の支援を募るサポーター制度を始めました。この資金はリーダーの活動に用いられます。その第一号として、出来田さんにご支援をいただきました。

雅人 学生リーダーたちがボランティアで活動していると聞いて、何かしらの形で感謝を伝えたい気持ちがあって、寄付することを決めました。



5月に開催した発会式

ひまわりリーダー ありがとうございます。率直に、支えてもらって嬉しいです。その想いを受けとめて、リーダーたちと子どもたちと一緒に、皆が楽しいと思えるOutdoor Clubをつくっていききたいです。

藤本 最後に、Outdoor Clubへの想いや、読者の皆さんに伝えたいことをお聞かせください。

雅人 今の子どもたちが経験する場が少なくなってしまった自然との関わりや、家族や学校以外での他者との関わりは貴重な経験になります。若いリー

ダーたちにとっても、子どもたちにとっても、その時間、年代でしかできない貴重な経験をお互いに与えあっているのではないのでしょうか。

ひまわりリーダー Outdoor Clubは子どもたちもリーダーも楽しみながら成長できる素敵な場所です。外の活動が好きな人、子どもたちと関わりたい人、新しいことにチャレンジしたい人、誰でもリーダーとして参加してほしいです。

友美 私はOutdoor Clubが大好きなので3番目の子も入会しようと思っています。勉強とは違う所で子どもの生きる場所があることって大事だと思うんです。そういう場所を子どもたちに与えてあげたいですね。興味のある方は、参加してみたいと思います。

藤本 ありがとうございます。年間10回という限られた活動ですが、その10回の中で子どもたちに様々なことを伝えるチャンスが与えられていることに感謝したいと思います。2025年度の活動は始まったばかりです。出来田さん、ひまわりリーダー、引き続きよろしくお願いします。

熊本YMCA
Outdoor Club▶



Outdoor Club
サポーター制度について▶



I n f o r m a t i o n

日常ではできない経験と学びを 阿蘇留学2025

今年の夏休みは阿蘇に留学しませんか？YMCA阿蘇キャンプに1週間以上連泊し、スタッフと共にキャンプの準備やプログラムづくり、運営と実践、リーダー活動に携わるプログラムです。

■ キャンププログラムの準備と実施、宿泊施設運営補助、自然遊びスポットの下見・調査、自然環境保護活動、宿泊・食事提供の補助 等

■ 中学生・高校生(大学生・社会人は応相談)

■ 2025年7月～8月 1週間～3週間(希望に応じて日程の選択可能)

■ 同時期 最大5名まで(先着順)

■ 1日あたり 10,000円(税込)

■ LINEまたはメールのいずれかで仮申し込みを受け付けています。仮申し込み後、Zoomまたは対面での面接を実施し、正式な参加決定となります。

email asocamp@kumamoto-ymca.org

件名に「阿蘇留学希望」と記載の上、以下の情報を添えてお送りください。

①氏名、②年齢、③学校名、④電話番号、⑤メールアドレス、⑥希望理由

■ YMCA阿蘇キャンプ Tel 0967-35-0124 ※不在時はメッセージを残してください

LINEからの
申し込みはこちら▶



写真はイメージです



戦後80年 平和の学びを広島の地で 国際青少年平和セミナー

今年は、戦後80年を迎えます。国際青少年平和セミナー(International Youth Peace Seminar)は広島の地に国内外から若者が集い、「平和」について学びを深める国際交流プログラムです。同年代の参加者それぞれの思いを共有し、様々な価値観にふれることができます。ユースボランティア「国際ユースリーダー」によってプログラム運営がなされ、被爆者証言やワークショップを通じて国際交流を図ります。

■ 2025年8月5日(火)～8月9日(土)

■ 広島市(広島YMCA及び平和記念公園の周辺エリア)、廿日市市

■ 国内外の高校生・専門学校・大学生相応年齢、国際交流に関心のある方。※語学力は問いません。

■ 125,000円 ※地球市民育成基金による参加費補助があります。

■ 広島YMCA

■ 6月12日までにお問合せください。Tel 096-353-6393(熊本YMCA担当:宮崎)

国際
×
平和



日 日時 場 会場 内 内容 費 参加費 定 定員 条 参加条件 持 持ち物 対 対象 催 主催 締 締切 申 申込 問 問合せ 他 その他

R | E | P | O | R | T

福祉

ソーシャルワーカーを養成 入校式を挙行



熊本YMCA学院 通信制 須藤史朗

熊本YMCA学院通信制の社会福祉学科と精神保健福祉学科の入校式を、4月19日(土)熊本YMCA本館／グローバルコミュニティセンターで執り行いました。今年度は、社会福祉学科に54名、精神保健福祉学科に43名が学びの門を叩きました。

通信制は、社会人が働きながらソーシャルワーカーを目指す学科として、熊本をはじめ九州各地から幅広い年齢層の皆さんが受講。22歳から75歳

の、多様な背景を持つ仲間たちが集いました。

社会福祉学科では1年半、精神保健福祉学科では11カ月の期間で、レポート作成やスクーリング、現場実習といった課題に取り組みます。熊本YMCA学院の通信制からは、これまでに多くの修了生が福祉の専門職として巣立ち、それぞれの現場で活躍しています。

新たな知識と経験を積み重ね、社会に貢献できるソーシャルワーカーを目指す入学生の活躍を心より期待しています。



野外教育

親子で参加 阿蘇ファミリーハイキング



阿蘇ファミリーハイキング参加者 西村絢子

4月20日(日)にYMCA阿蘇キャンプで行われたファミリーハイキングに親子で参加しました。初めての環境にワクワクと緊張が半分ずつの様子の子どもたちでしたが、長男は徐々に親の手を離れてリーダーと山道を歩くようになり、たくましい足取りや表情に成長を感じました。次男も普段は抱っこ大好きの甘えん坊で、途中で少し弱音がでま

したが、お友だちやリーダーに励まされて最後まで自分の足で登りました。

阿蘇ならではの元気いっぱいの草花や虫に驚いたり、山頂の気持ちのいい空気と景色を皆さんと一緒に喜び合ったりと、家族だけで体験する以上の喜びをもらえたように感じています。その後は大人数でのかくれんぼや焚火等、普段できない体験を思い切り楽しみました。リーダーや参加者の皆さんと充実の1日を過ごすことができました。



祈り

ミャンマーへ祈りを オンライン緊急祈祷会

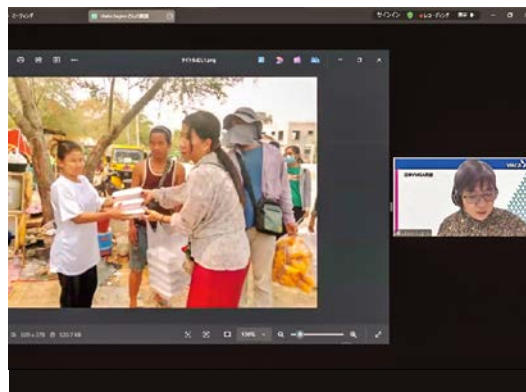


熊本YMCA本部事務局 木村成寿

3月28日にミャンマーを直撃した地震では、多くの方々が尊い命を奪われました。地震から1カ月が経過した4月30日(水)に日本YMCA同盟主催の緊急祈祷会がオンラインで開催されました。死者・負傷者・不明者をあわせると1万人を超える被害になっており、参加者約100名が現状の報告に聞き入りました。

皆様から寄せられたミャンマー地震緊急支援募

金は、日本YMCA同盟、アジア太平洋YMCA同盟を通じてミャンマーの各YMCAに届けられています。募金は物資支援のみならず、身体や心のケアを行うために用いられていることが報告されました。在日ミャンマー人牧師の「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」(マタイによる福音書28章20節)のメッセージを分かち合い、祈りを届けました。2021年軍事クーデター以降、苦しんでいるミャンマーの方々があります。平和と感じられる日々が1日も早く訪れますように共に祈ります。



熊本YMCA 総主事 伊藤 眞太郎

マ

ナ

Vol.3

神の前で 神と共に 神なしで生きる

ある会議での礼拝で紹介された言葉が、ずっと心に残っています。

「神の前で、神と共に、神なしで生きる」

第二次世界大戦中、ドイツの神学者ディートリヒ・ボンヘッファーが獄中で記したこの言葉には、一見すると矛盾をはらみながらも、誰にも頼れない状況下で、それでも“生きる”という覚悟と責任が込められていたように思います。

私たちが生きている社会は、すぐに答えが出

ない問いであふれています。戦争や侵略、子どもの貧困、孤立する高齢者、止まらない気候変動……ウクライナ、パレスチナ、そしてインドとパキスタン……。世界各地で争いが続き、ただ心を痛めるばかりのことも少なくありません。けれど、「自分にはどうにもできない」と思って目をそらすだけで、前に進むことはできるでしょうか。そう感じるたびに、神様から静かに問いかけられているような気がします。

「あなたは、それでも応えようとするのか」

「誰と共に、それを担おうとするのか」

誰かと語り合い、分かち合う。“今”この瞬間を、どう生きるか。目の前にいる人と、どれだけ誠実に関われるか——その問いの中に、私たちの“生きる”があるように思います。

ボンヘッファーが語った「神なしで生きる」という言葉には、見えない神の沈黙の中で、それでも隣人と共に立ち、責任をもって応えようとする——そんな愛と信頼が込められているように感じます。

“生きる”とは、未来を描くことと同時に、“今”、この瞬間に生きていくこと。誰かと共に、在るということ。

6月。心の天気も揺れがちな季節ですが、だからこそ、静かに投げかけられている問いに耳を澄ませ、声なき声を心の声で聴いてみたいと思います。うまく応えられなくても、迷っても、歩みが止まってしまっても——それでもまた応答しようとする。それが、“今を生きる”ということなのかもしれません。

YMCAの“今”をチェック! 熊本YMCA SNS特集

熊本YMCAでは、各事業部SNSを通じて日々の活動や最新情報を発信しています。気になるプログラムを、ぜひチェックしてみてください。



YMCAのボランティア
情報などを紹介



熊本YMCA
公式LINE

動画で見る
YMCA



熊本YMCA
YouTube

YMCAの会員活動
などを紹介



熊本YMCA
Facebook

子どもたちが
スポーツを通して成長



熊本YMCAウエルネス事業部
Instagram

Outdoor Clubや
季節のキャンプ情報



熊本YMCA野外教育
Instagram

こどもと大人の
語学教育



熊本YMCAグローバル事業部
Instagram

様々な目的に対応した
宿泊施設



YMCA阿蘇キャンプ
Facebook

専門学校の
最新情報



熊本YMCA学院
Instagram

11カ国からの
留学生が在籍



熊本YMCA学院日本語科
Facebook

社会福祉学科と
精神保健福祉学科



熊本YMCA学院 通信制
Facebook

不登校児童・生徒
支援プログラム



熊本YMCAぷらっとほーむ
Instagram

YMCAユースの
交流や研修



熊本YMCAオールリーダー会
Instagram

ウォーターセーフティー キャンペーン



YMCAは全国でアクアティックプログラムを開講しています。子どもたちへ水難事故を防ぐために必要な知恵を授け、身を守る術を伝えていくことが、私たちの大きな使命であると考えています。熊本YMCAでは、全国のYMCAと協同し、水辺での活動が増える夏の時期を前に毎年「ウォーターセーフティーキャンペーン」を30年以上にわたって展開し、尊い命を守るための取り組みを行っています。



熊本YMCAの活動

※()内は2024年度実績

- ①熊本市内外の小学校1年生に対する「YMCAウォーターセーフティーハンドブック」の無償配布(127校 10,325部)
- ②希望する小学校および幼稚園・保育園での水上安全講習会(26校・園 2,412名)
- ③水に対して苦手意識のある子どもたちを対象とした水泳特別プログラム「みんな泳げる25m運動」(5校 136名)
- ④通年プログラムでの着衣泳体験

わたしと聖句



大津キリスト教会
米村 英二

テサロニケ信徒への手紙一 5章21節

すべてを吟味して、良いものを大事にしなさい。

すべてを吟味して

人生をよく生きるには、どうしたらよいでしょうか。

そのためには、すべてを吟味して、ほんとうに良いものは何かと考えてみるのが大切だとパウロは言っています。

年末に部屋を掃除される方は多いでしょう。雑然とした部屋を見て、「よし、かたづけよう」と決意する。

その時、私たちに必要なのは、何は捨て、何はとっておくかの判断です。それが的確に行なわれるとき、部屋は徐々

に秩序を取り戻すことになるでしょう。そうでないと、つまらないものを後生大事に取っておくかも知れないのです。

人生の整理も同じです。

私たちは、あまりに多くのことで忙しくしていないでしょうか。あれもこれもと手を出しすぎていないでしょうか。

そこで思い出すのは、「死の準備教育」を最初に日本に紹介した元上智大学の教授デーケンさんの次の質問です。

「もしあと半年の命しかなかったら、残された時間をどのようにあなたは過ごしますか」

この質問に答えた学生たちはみな衝撃を受けました。自分がこれまで大事にしていたものの変更を迫られたからだといいます。

ほんとうに良いものを見いだすために、この質問は、私たちにとても有益なのではないでしょうか。

発行所／(公財)熊本YMCA
〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1
TEL 096-353-6397(代)

発行人／伊藤 真太郎 編集／熊本YMCA ICR
定価60円 購読料は会費に含む

www.kumamoto-ymca.or.jp



公式LINE

熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

2025年度基本聖句

何事も愛をもって行いなさい
コリントの信徒への手紙一 16章14節